

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(751)9107
担当部課名	消防本部	消防総務	課	施設
事務事業名	消防職員貸与被服購入事業		事業コード	23130

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	災害に強いまちづくり	~63年度
施策名	第3施策	消防力の強化	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市消防吏員の服制等に関する規則、相模原市消防吏員の服装等に関する規程

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
消防職員として、市民の生命や財産を守るため災害時における消防・救助・救急活動を行うにあたりいかに自らの安全を確保するために必要な被服を着用させるか、また、平常時には市民から見ても一目で消防職員であることを判別してもらうことができるか。そのことにより市民に安心感を与えられるかということを目指しているものである。		消防職員	
		対象数	589人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<ul style="list-style-type: none"> 更新貸与分 26,502千円 新規職員分 6,590千円 人事異動分 6,427千円 毀損対応分 3,848千円 その他 3,603千円 		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~年度
		なし	

4 評価指標

指標名	更新対象数に占める希望数の割合	貸与規則上の更新年数の運用割合
指標式	各年度の希望数 / 各年度の更新対象数 × 100	各年度の貸与年数運用種類数 / 各年度の規則上の種類数 × 100
指標設定の意図	貸与延伸数の削減により次年度予算への繰越分を抑制する。	規則上の貸与年数延長により各年度予算の削減を図る。

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	96	63	a 78	b 100	83
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	44,705	42,721	46,970	44,861
	人員・時間数	1人・93日	1人・103日	1人・104日	1人・114日
	人件費	2,746	3,070	3,102	3,426
	その他経費				
	合計	47,451	45,791	50,072	48,287
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか												
評価 C ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 78.0%										
	B : 一部達成していない(100%> 80%)											
	C : 達成していない (80%>)											
a	78.0	b	100.0	$\times 100 = 78.0\%$	c		d	$\times 100 =$	e		f	$\times 100 =$
理由 :	貸与期間を延伸することは当該予算執行の節約にはなるが、翌年にその分が繰り越されるというデメリットを含んでいる。その他に貸与期間の延長等の経費節減措置は図っているところである。											

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 B ▼	A : 適応している	理由 :	災害は多種多様化しており、今まで以上に危険にさらされることが予想され、常に時代に対応するための調査研究が必要である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	職員に貸与されている被服の中には、職務の特殊性から一般から見ると高価と思われる品もある。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	一般的な制服から、職務の特殊性に応じたより専門的なものまで多岐にわたっていることから、民間ではその役割を担うことは難しい。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	公安職という側面から一定の制服等を着用していることで、市民から見た場合に人目で消防関係者であることを認識することは可能であり、安心感を与えることができる。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	市民の生命や財産を守るためにも、職員の安全確保を図りながら当該事業を推進することは重要である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明 : 既に規則で定められた更新期間の延長を図っており、更に貸与品の一部は更新から毀損対応とするなどの運用をしていることから、成果向上の余地は少ない。
	コスト改善余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明 : 消防職員として最低限その活動上必要とされるもの、また公安職としての象徴としての制服などを省くことが現在の社会通念上では難しいことから、経費削減は困難といえる。

7 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較	貸与事務の方法の観点から、点数制の採用の有無 ・松戸市、堺市高石市、岡山市...採用 ・静岡市、浜松市、豊橋市...不採用
今後の進め方		説明	消防職員として災害活動上において身の安全を確保しながら、市民の生命や財産を守るのに必要な被服(装備品的なものも含む)を貸与することは必要不可欠である。一方、公安職のひとつとしてより権限を与えられる立場におかれていることで市民から一目で消防職員であることを認識してもらうために、制服等の被服についてもシンボリックなものとして必要と考えられるものである。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--